

旬を食べよう。

あおもり食材で
簡単ヘルシークッキング

津軽海峡メバル編



これに刺身を付けて食べたり、軽く塩をして一夜干しにする食べ方です。町内の提供店では、「中泊メバルの刺身と煮付け膳」が人気。一本釣りのメバルのなかでも最大級のサイズのメバルを丸ごと使っており、刺身、炙り、煮付けなどが味わえます。ぜひ、地元に食べにきてください！



小泊漁業協同組合
メバル一本釣り部会 会長
おおた なおきさん(中泊町)

高級魚として珍重
白身で淡泊なメバル



メバルのバターソテーサラダ

【一人分のエネルギー: 132kcal / 塩分0.5g】

〈材料: 4人分〉

メバル	1尾(200g)
塩・こしょう	各少々
油	適宜
バター	5g
新玉ねぎ	100g
春菊	50g
アスパラガス	2本
カイワレ	少々
菜の花(穂先のみ)	20g
パプリカ(黄)	50g
ラディッシュ	2個
スライスアーモンド	適宜

〈作り方〉

- ①メバルを三枚におろし、半身を2等分して塩・こしょうで下味をつける。
- ②玉ねぎは輪切りの薄切り、ラディッシュも薄切り、パプリカは種をとり輪切りの薄切りに。カイワレは、バラしておきます。
- ③菜の花の穂先は、軽く塩ゆで。アスパラガスは斜めの薄切りにしてゆでる。
- ④①を皮を下にして焼き、ひっくり返す。
- ⑤全体に火が通ったらバターを絡める。
- ⑥器に②③を盛り、⑤のメバルと軽くローストしたスライスアーモンドを乗せ、生姜ドレッシングをかけて完成。

るみ子先生のワンポイントアドバイス

メバルの骨は、焼いたあとの方が取りやすいので、骨を取ってから盛り付けましょう。また、メバルの身は、とても柔らかいので、食べる時にメバルをぐずし野菜と一緒にいただぐといちだんとおいしく召し上がれます。

レシピ開発・調理／管理栄養士 福士るみ子



縄糸が結ぶ縁



私が出会った 青森のイッピン 津軽組ひも

vol.12



青森県伝統工芸士の川口良子さん



組ひもと結びからうまれるアクセサリーや小物たち

組ひもと結びからうまれるアクセサリーや小物たち

大きな紙に細かく引かれたマス目、そこに小さな字で数字が書き込まれている。「綾書き」と呼ばれる組ひもを制作するための設計図の緻密さに、なんと気が遠くなる作業だろう、と驚いた。今回、青森きらりイッピンでは「津軽組ひも」の制作に携わる、青森県伝統工芸士の川口良子さんにお会いした。あおもり藍やりんごの草木染めなど、淡い色から鮮やかなものまで色とりどりに染められた

組ひもが結ぶ縁とでも言おうか、最近ではJR東日本「TRAIN SUITE四季島」の乗務員の制服の紋章も、縫めなどになることが多いが、プローチやお守り、かばんなど、組ひもの技術を使った製品は多岐にわたる。

組ひもが結ぶ縁とでも言おうか、最近ではJR東日本「TRAIN SUITE四季島」の乗務員の制服の紋章も、縫めなどになることが多いが、プローチやお守り、かばんなど、組ひもの技術を使った製品は多岐にわたる。

本誌題字タイトル／「青森きらりイッピン」ロゴタイトル



書家
菊池 錦子 Kinko Kikuchi

[プロフィール]

青森県弘前市出身
個展で書を発表しているほか、自身の書と写真で綴った「ゆりかごII」の出版、NHK大河ドラマ「篤姫」・「江～姫たちの戦国～」の題字をはじめ、映像・イベントなどのタイトルや社名、商品名など多方面にわたって数多くの筆文字のロゴも手掛けている。

表紙撮影／「青森きらりイッピン」取材撮影・文



カメラマン
望月 研 Ken Mochizuki

[プロフィール]

山梨県出身宮城県在住。1998年東京外国语大学ビルマ語学科卒業。NHKの番組ディレクターを経て、カメラマンに転職。アシスタントを経てフリーとなり、2012年仙台に拠点を移す。ファッション・ポートレイトをメインに、建築や料理撮影など活動の幅は広く、空間のモチ色彩やスケールを、その撮影目的の世界観で写真に定着する。

「青森きらりイッピン」
動画コンテンツを配信しています。

青森が誇る「ヒト」、「モノ」、「コト」を紹介する動画コンテンツ「青森きらりイッピン」を、YouTube、Facebookで配信しています。スマートフォン、パソコンで「青森きらりイッピン」を検索してご覧ください。「青森きらりイッピン」の紹介ホームページはこちら http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/tv/int_kirari.html